



今年もよろしくお願ひいたします。

次の学年への「0学期」が始まりました。

元日から能登半島地震に始まり、2日の羽田空港の事故、3日の北九州の火事となくなられた方のご冥福をお祈りしますとともに、被災された方々へお見舞い申し上げます。そんな言葉で始まった1月9日（火）の始業式でした。今年は初めからいろいろなことが起こっていますが、令和6年をどんな年にするのか、自分の目標を立てましようと話しました。

さて、ちょっと長めの冬休みを過ごした子ども達は元気に登校していました。早起きしたのか、なんだかまだ目が覚めていないような子。久しぶりに友達と会って、テンションが上がっている子。思い思いに17日間を過ごしたようです。

そして、3学期に頑張ってもらいたいこととして、今年も次の3点を伝えました。

3学期の登校日数は1～4年生は50日。なんと6年生は46日しかありません。一日一日を大事に過ごしたいと思います。

また、3学期は次の学年への「0学期」という話もしました。次の学年へ準備をするという意味です。学習面だけでなく、心の面でも「次は高学年になる」や「来年は一つお姉さんお兄さんになる」等…子ども達もそれを意識しながら過ごしてほしいと思っています。

～本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。～

- 読書をする。
- 外で遊ぶ。
- 自分がされて（言われて）
いやなことは
しない。言わない。

忘れてはならない日 29年前の1月17日

29年前の1月17日の早朝、阪神淡路大震災が起きました。その後、東日本大震災、熊本地震、そして、今年の能登半島地震。日本は地震大国であることを否が応でも、認めざる負えないような現状です。

阪神淡路大震災の後、始まった地震避難訓練。18日（木）に本校でも実施しました。人間はどうしても忘れてしまう生き物です。いつ起こるか分からない地震に備えるためにも、この避難訓練は大事にしたいと思っています。今回、大きな地震から日が浅いため、訓練は予告して行いました。子ども達は真剣な表情で取り組んでいました。



伝統を受け継ぐ

4年生は2月の「10歳を祝う会」に向けて、準備を始めました。

20年ほど前に作られ、代々受け継がれてきた「弥四郎の里」という発表を作られた三輪小の荒木校長先生に来ていただき、なぜ作られたのかということやそこに込めた思いについて直接話を聞くことができました。

真剣なまなざしで聞いていた4年生。中牟田校区に残していきたい「弥四郎の里」をどう表現してくれるのか、楽しみです。

